



御園だより

令和7年度12月号
大田区立御園中学校
校長 古川 大輔



キャリア探究～笑顔とあたたかさあふれる未来を創造する力の育成～

保護者の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本校では令和7年度からキャリア探究プログラムを始めています。5つの領域において異学年によるプロジェクトチームを編成し、地域や実社会の課題解決に取り組んでいます。

「食プロジェクト」では、東邦大学医学部の皆様を授業パートナーとして迎え、学校給食や大学の学食で提供するメニューの共同研究・開発を行っています。生徒たちは試行錯誤を重ねながら、人も地球も健康になる「食」をテーマに探究を深め、成果をプレゼンテーションにまとめています。すでに校内では2年生が理科の授業で考えた「消化と吸収」を意識した献立が、実際の給食のメニューとして採用されています。「アントレプレナーシッププロジェクト」では、商品の企画から販売戦略までを生徒たちが構想し、オリジナルのキャラメルポップコーンの開発に取り組んでいます。令和8年2月6日（金）から8日（日）の期間に羽田空港第3ターミナル・羽田エアポートガーデンにて販売を予定しており、実社会と直結した学びを進めています。「国際理解交流プロジェクト」では、羽田空港旅客ターミナル内において国際理解を目的とした現地インタビュー調査を実施しています。特別なご配慮のもと、外国からの空港利用者に取材を行い、感謝の気持ちとして生徒が手作りしたお土産をお渡ししています。「蒲田 Happiness プロジェクト」では、3つのチームが、蒲田駅西口周辺や商店街、公園等で清掃活動を行っています。チームのビブスを生徒自身がデザインし、「きれいな蒲田の街」「地域に愛される学校」の実現に向けて主体的に考え、活動しています。「ゼロからイチへプロジェクト」では、大田区の地域課題をテーマに、取材や調査を重ねています。ディスカバー・コンセプト・デザイン・クリエイションの探究サイクルを繰り返し、生徒たちにとっての理想の未来社会を構想するプレゼンテーションを作成しています。また、分教室のみらい学園中等部では、建築士をはじめとする設計事務所のスタッフや大田区の職員などを外部講師として招き、生徒が主体となって新しい学びの場を描き出す「未来の学校を創造するワークショップ」プロジェクトを継続的に実施しています。

授業後の3年生のアンケートには、「様々な問題や悩みを知り、それらと向き合うことの大切さが分かった」「これからは僕達が大田区の未来を支えていく番だという実感をもつことができた」「自分たちの力で成し遂げるために、どう考え、どう取り組むかを考える練習になり、楽しい学びだった」といった感想があります。これらの言葉からは、生徒たちが探究の難しさに向き合いながらも、探究の過程を価値ある「自分ごと」の学びとし、主体性と当事者意識をもって社会と関わろうとしている姿がうかがえます。今後とも、家庭・地域・大学・企業の皆様との連携を大切にしながら、生徒一人一人が社会の一員として未来社会を構想し、当事者意識をもって行動できる力を育んでまいります。

さて、生徒のみなさん、本日2学期の終業式を迎えました。生徒のみなさんにとって、どのような4ヶ月間だったでしょうか。今学期、それぞれが努力を重ね、成長した姿を見せてくれたことを大変嬉しく思います。授業はもちろんのこと、心に残る学校行事や異学年でのキャリア探究をはじめ、多くの学びや新しい体験、経験がありました。思うような結果が出なくとも、努力し挑戦する限り、人は成長するか成功するかのどちらかです。失敗とは何も努力せず、時間だけが過ぎていくこと。小さなことでも、自分自身が努力できたことを認めてください。そして、みなさん一人一人にそれぞれの課題があることを意識してください。次に向けたリフレクション、振り返りが大切です。思うようにいかなかつたことや、できなかつたことについては、改善し、克服していくことを願っています。

新たな気持ちで新年を迎えるよう、小さくてよいので具体的な目標を決め、健康に気を付けながら、冬休みを有意義に過ごしてください。また、この冬休みには、自分自身や家族との時間を大切にしてください。3年生のみなさんは、一人一人が受験・受検に向けて、「焦らず、慌てず、あきらめず」に「自学」を取り組んでほしいです。心から応援しています。挨拶と笑顔でみなさんにお会いできる日を心待ちにしています。よいお年をお迎えください。

本校ホームページ「Misono Diary」に生徒の活躍、活動の様子の写真を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。